

(一休憩の間に会場レイアウトを変更し、輪になって第2部開始一)

—第2部 長後の良いところを語ろう！—

○司会 (小屋原副議長)

それでは、雰囲気も変わりまして、ただいまから第2部に入ります。

長後の良いところを語ろう！をテーマにフリートークで皆さんとお話したいと思しますので、自由闊達な議論をお願いします。ご発言の際には挙手にてお知らせいただき、お住まいの地区・自治会をお伝えください。なお、本日はコーディネーターとしてプラザむつあいの堀さんにご参加いただいております。堀さん、よろしく願いいたします。

○コーディネーター (堀)

皆さん初めまして。私は六会市民センター2階にあるプラザむつあいにおいて、活動されている皆さんを応援する団体として活動しております。住まいは六会地区ですので、私の同級生は小学校の時に富士見台小学校ができ、一部が分かれていった経過があります。また、昔(長後市民センターからまっすぐ進んだ)六会橋まで、六会地区だったことがあり、縁がないわけではありませんが最近なかなか一緒に何かすることもなかったので、本日声をかけていただき、長後のお手伝いが出来たらと思ってまいりました。

まず感動したのが、始めの井上議長のご挨拶で「郷土づくりは地域の市民と市で、協働で物事を進めていく」とあったが、共に働くという姿勢にとっても共感を得ております。また今回は「住民サミット」、つまり首脳会議ということですので、ご自宅ならぬご近所の想いをもってお越しいただいているかと思えます。本日は思い切ってどんだんいろんなことを言ってください。この意見を郷土づくりの委員さんに受け止めていただき、色々な政策に活かしたらと思っております。また、来年の郷土づくりへ繋げ、本日お越しの皆さんも郷土づくりに興味を持ち、協働でやらなきゃと思っただき、来年4月から郷土づくりの委員になっていただけたら有難いです。

【フリートーク】

皆さんから長後の良いところのキーワードを集めたところ、次のとおり挙がってまいりました。

【参加者から集めた長後の良いところを投影スライドで確認】

| |
|---------------------------|
| 皆さんが思う長後のよいところ |
| ・自然豊か、自然の眺望、引地川、遊水地、富士山 |
| ・子育て環境、子育て広場、若い人が意外と住んでいる |

| |
|--|
| ・歴史、七夕まつり、長後まつり、盆踊り |
| ・農業、農産物、田園、四季折々 |
| ・暮らしやすさ、定住している人が多い、ご近所同士の声かけ、人の温かさ、ボランティア活動、先人たち |
| ・立地（都心、観光地へのアクセス）、医療機関、気候、大災害無被害 |

ぜひどなたか、「良いところはここだ」「良いところをどうしたらよいか」というような意見を1つ教えていただけますか。

○発言者1（下土棚東自治会）

引地川に関連して、現在遊水地の工事を行っているが、長後は田舎の雰囲気が残っている場所です。こうした場所を我々の目線で、マップ作りするのも良いのではないのでしょうか。境川あたりについても、夜には七ツ木から電車が銀河鉄道のように見えるといった魅力もある。一団体の人がまとめたものではなく、住民のちょっとした意見を吸い上げてマップにまとめてみるのがよいと思います。

○コーディネーター（堀）

今日は「やってみたらどうなの」といった意見をどんどん発言してもらえたらと思います。

○発言者2（商店街）

今日は郷土づくり推進会議の活動について知れて感心し、感謝したいと思いました。長年長後に住んでいるが「環境が良い」「人づきあいが良い、浅からず深からず」といった様子で、近所の目が見守ってくれます。都心にも観光地にも近く、アクセスが良いところは今更ながら改めて感じました。

最近、地元・長後のために何ができるかを考え、活動しているが、若い世代が地域に関心を持ち、活動できるように、周知に力を入れるなど我々大人ができたらと思っています。商店街としても、郷土づくり推進会議の力を借りて一緒に活動していきたいです。

○発言者3（長後地区地域住民）

長後は農産物が豊かで春夏秋冬楽しめるので、職場の人にも教えています。ただ少し離れた市外の人に説明するには、地理的に難しく聞き流されてしまう

ことが多いです。今回聞いた長後の歴史や取り組みを聞いて、長後の良いところを長後住民の目線でピックアップしてまとめるのは良いと思いました。ボランティア活動にも取り組み、若い方の担い手育成に力を入れていることが良いと思いました。一方で、現在は介護の現場で見られるように、高齢者の力も必要になってくるので、何が得意なのか・できるのかを聞きながら、地域で活躍できる場を作り上げていけたら良いと思います。

○発言者4（長後市民センター生涯学習事業担当職員）

結婚して子育てしながら家にいる時期に、外を歩くと、長後の人たちが声をかけてくれました。子育て広場をのぞいた時にも優しく声をかけてくれました。周りを見渡すと自然も豊かで、自然な中で考えて遊んでいるのが良いと感じました。長後という1つのチームで子育てしている感覚があり、その気持ちを今の長後の人たちにも伝えたいと思ったことから、今年度から事業担当の取り組みとして「ぽんぽこフリースペース」を開催しています。私のように友達が作れたらとの思いもあり、月に1回集まり遊んだり、もやもやしていることを話したり、ピアノでリトミックしたり、ピラティスをしたり、保育ボランティアに来てもらい一緒に子育てしてもらっています。長後地区を知ってもらうために長後地区公園マップを配り、子育て広場を伝え、長後のここ良いよを伝えています。インスタグラム長後くんにも配信しているので、ご覧ください。

私は前職が保育士であるため、虐待された子どもを預かる施設やDVにより逃げ込むシェルターでの仕事などを活かし、その人に合った心、体の発育などを大切にしながら何か役に立てたらと思っています。

ぽんぽこフリースペースについては過去6回の通算で来館総数は229人、ほとんどが長後地区の方で、リピーターやお父さん、おばあちゃんもたくさん来られます。帰りにどこを寄って帰ろうか、と長後の話をしている姿も見られません。

もう1つつながりのお話をご紹介させてください。乳幼児学級、小学生事業を経験した子が成長し、高校生となった現在講師として来てくれたり、海洋科学教室での経験を受験の面接のときに話し、大学の海洋学部を受かったとの報告を受けたこともありました。長後で過ごした子どもたちが大人になり、地域を担い、街を元気づける人になってもらうためには、初めての子育て世代に目を向け、長後を好きになってもらいたいと思います。長後で生まれてよかつ

た、長後って温かい、地元に戻るとホッとすると思ってもらえるように人材づくりに力を入れたいと思います。

○コーディネーター（堀）

長後地区、子育て世代がたくさん住んでいるということですね。長後の良いところ、いかがでしょうか。

○発言者5（長後二区）

生まれた時から長後におりまして、とても活気があったが、現在は他地区に遅れをとってあり、これらを解決するには若い世代の力が必要だと考えています。先日行われた商店街のお祭りにはたくさんの若い人が来られました。若い人の力は大きいので、ぜひ色々なところに参加してもらいたいです。

○コーディネーター（堀）

藤沢湘南台病院にて開催した古い建物を取り壊すイベント（2号館ありがとう祭）では、200名集まればと予測していたところ2000名以上の方が来られました。子連れや若者を中心に賑わいのあるイベントでした。長後地区には若い世代がたくさんいるので、今後は開催時間を工夫すると良いと思います。

商店街で開催するお祭りについて、以前薬局から羽根澤屋さんのあたりまでバルーンアートをして歩いた経験があります。子どもたちの興味が高く、リクエストありますね。

○発言者6（郷土づくり委員）

長後に70年以上住んでいます。長年暮らして道路を広げられなかったのは最大の悔いです。郷土づくりをはじめ、色々なところで議論してきたが、センターの前の通りの歩道整備しか未だ実現できていません。他方で人の繋がりは楽しく、色々な人たちと交流している。交流がこれからも続いていけたらと願っているが、自分の子ども世代が同じことをしているかといわれるとそうでもない。代替わりがうまくいかないこともしばしばあります。

職業選択の自由を奪うわけにはいきませんし、日本全体として商店・商業が衰退している現実をどうすることもできません。ネット通販・ネット販売など

勝てないことはあるので、それ以外のことで何かやっていかなければならないと思います。

最後に長後の良いところは隣近所、顔見知りが多く、手助けをしてくれることです。

○発言者7（長後通り北部第一自治会）

長後に住み始めて40年経ち、子どもは巣立ち地方に移ったが、その子どもは長後から見える富士山の景色の良さを語っています。普通に当たり前を感じてしまうが、少し離れ見えなくなると寂しさを感じます。農産物にしてもおいしいものがたくさんあります。外から長後の魅力を言われると内の（住んでいる）人もそうだなと思うことがあります。長後の認識度に関して、東京のタクシーで長後街道と伝えると一発で通じます。

今日、郷土づくりの部会のお話を聞き色々を知ることができました。おはようボランティアについて、私もできるとき長後小学校前で活動しています。皆さん色々な取り組みをされていてとても良いまちだなと感じております。ネガティブな意見もある中でも、こうした力を活性化させ、おまつりなどのイベントを継続していただきたいです。先ほど代替わりの難しさについてお話がありましたが、子どもたちは親の姿を見て育つので継続が大切だと思います。

○発言者8（長後市民センター生涯学習事業担当）

生涯学習事業担当として、来年4月からは高齢者を中心とした取り組みを進めていくところです。生まれも育ちも長後ですが、子育てをはじめ色々声をかけてくれる人が多く良いところです。同級生も含め長後に住み続けている人が多いのも、長後が良いところだからだと思います。今は我々現役世代が地域団体等で頑張ることが、これからの長後の盛り上げにつながると思います。そのためには色々な団体と長後市民センターとで一緒に考えていけたらと思いますし、生涯学習事業担当の強みを活かして、何年先も続く長後を作っていきたいです。

○発言者1（下土棚東自治会）

ダメなところばかりが目についてしまうが、こうして良いところを出していく取り組みは今後も必要だなと思います。

先日、湘南工科大学のデザイン科の先生と地域をどうするかについてお話しした際「ブランドマークを作ったらどうか」と意見が出ました。決定後は商店街や農家さんにも使用していただけたら、少しずつ変わっていくのではないかとのお話でした。

○コーディネーター（堀）

ブランド化良いですね。お野菜では「湘南」をつけると勢いよく売れるとか聞いています。JAのわいわい市はすごく混んでおります、車のナンバー、市内はほぼありません。都心から箱買いで求める方も多く湘南ブランドは確立しているようです。

長後の良いところ色々と掘り起こされてきました。いかがでしょう。

○発言者9（長後二区自治会）

長後に住んで38年になります。勤務が東京だったので感じるのですが、長後は空気がすごく良いです。また、色々な病院があるところも長後の魅力だと思います。数年前に土地家屋調査士から聞いたのですが、大震災の後鶴沼方面から長後に引っ越してくる方がすごく多いそうです。確かに長後は高台となっておりますね。年間を通して気温の温度差も少なく、大雪で困ることも少なく、住み良いと感じております。

○発言者10（長後二区自治会）

70年長後に住んでおります。良いところについてですが、七夕まつり、昔は平塚に次いで長後と言われたほどでした。盆踊り、光月堂さんから鈴木薬局までが通行止めとなり踊る。長後まつり、公園で舞台作って、神輿を上げる。こうした楽しい思い出がいっぱいあったが、最近はどんどんなくなり、寂しいという思いをしていました。でも今日話を聞き、こんな活動をしているんだと知ることができました。ただ、そうした活動をもう少し分かるような周知方法をどうか考えてほしいと思います。そうすると、お子さんや若い人をはじめ参加者も増えると思います。周知とPRどうかご検討お願いします。

○コーディネーター（堀）

ありがとうございます。郷土の委員さんは周知について、チラシを回覧にするのか、全戸配布にするのかなど色々と考えていると思います。悩んでいる部

分もありますが、ここでもう一度考えていただけたらと思います。また地域の皆さんも隣近所に配ってと言われたらどうかご協力いただけたらと思います。

○発言者 1 1（長後二区自治会）

長後は昔から大きな災害がありません。長後は、空気が良いし、高台で地盤がしっかりしています。津波の心配がないので、長後へ引っ越してくる方も多いと聞いています。長後にもっと多くの方に住んでいただき、大きく発展させたいと思っております。

○長後市民センター長

長後にはまだまだ土地もあり、住みやすい環境になっておりますので、どんどん引っ越してきて欲しいと思っております。

○コーディネーター（堀）

どうぞ皆さん長後へお誘いください。私の知り合いで東日本大震災の後に鶴沼のマンションを売って、長後-湘南台辺りに引っ越してきた人もおります。この辺りは海拔39m、藤沢駅辺りが10mほどですので、北部の安全さもまたあります。独立、北部連合構想ということも何十年後かにあるかもしれません。その発端がこの場だったということもあるかもしれませんね。

○発言者 1 2（長後自治会）

私は生まれてからずっと長後に住んでおり、次のお正月で84歳になります。懐かしい話をしますと、今の長後駅西口のパチンコ屋さんの駐車場あたりに、当時私が通っていた渋谷小学校の運動場がありました。遠くの子どもも皆歩いて通っておりました。5年生の時に、今の長後小学校の前に南小学校が出来てそちらに移り、その後市町村合併により地域が二つに分かれました。福田町と和田町が大和に、長後は藤沢に。下土棚は既に藤沢にあり後に長後地区となりました。市町村の移り変わりはあっても、子ども達はいつも皆一緒に遊んだものです。

私は幼い頃に父が戦死しているのですが、周りの人達のおかげで現在までやってこられました。色々な形で長後の先人たちが街を作ってきた。長後の人は

皆、人がいい。文句を言わない人達です。皆で力を合わせて一生懸命コミュニティを作り上げてきました。そして私も80を超える年齢となりました。

私はこれまでに藤沢市内の他の地区でも勤務の経験があり、それぞれの地域に特色があることも理解していますが、今、やはり長後は本当にいいところだと実感しております。富士山もとてもきれいに見えています。

その長後を、これからどのようにしていったら若い世代に引き継いでいけるだろうかと考えます。若い方々が積極的に街づくりに関われる環境を作っていかなければと思っています。

私は自分の自治会に関わって35年になりますが、少しずつ世帯数が減っており色々と難しい時代になってきていると感じます。高齢者が多いと言われていますが、一方で新たに若い方も入ってきていることも事実です。長後の人はみんな優しいです。優しさゆえに奥ゆかしいところもあり、なかなか地域に出てこない方もいる。それを何とか引き出していけるような環境づくりをして、今後はどんどん若い世代を中心にまちづくりができればと思っています。

○コーディネーター（堀）

ありがとうございます。地域のことを熱く思ってくださっているお気持ちが伝わってきました。

前の席の若い方がうなずきながらお話を聞いていてらっしゃるのを見て、きっと繋がって行くなと感じました。先人たちの背中を次の世代がどう受け止めてつないでいくのかもこれからの課題になっていくのだと思います。

他に何かございませんか。

○発言者2（商店街）

皆さんのお話を伺っていると長後への思いがとても強いことを感じます。私は今年100年を迎えるパン屋です。学校給食で使っていただいている、現在82校の小中学校の計7万人の子ども達にパンを届けております。商店街の状況は以前と変わってきており、これを作りなおすのは難しいことだと思いますが、今出来ることとして、一人ひとりが持っている技術をもっと前に出してみんなで持ち寄って、それぞれの魅力を引き出せるような街にすることが大事ではないかと思っています。

私は、農地を守るために小麦の栽培をはじめました。今、それが神奈川県に広がって現在県内で10トン以上の小麦が生産されています。大人と子どもと

の関わりをもっと深く密接に。接点を増やすことで、より楽しい街ができるのではないかと思うのです。せっかく地区内に2つの小学校があるので積極的に子ども達と関わって一緒に活動できたらいいなと思います。

○発言者13（郷土づくり推進委員）

私は、結婚して初めて長後に住み始めました。結婚当初は誰ひとり知り合いもなく、夫の家族と同居し大家族の中で寂しい思いをしたこともありました。近所に「母親クラブ」というのがあり、誘っていただいたのがきっかけで、少しずつ友達が増え、子どもを通じて多くの人と繋がりを持つことができました。振り返ると、長後の人がいつもあたたかく手を差し伸べてくれたおかげで今の私があると思っています。今ではこの長後が大好きになっています。

○コーディネーター（堀）

ありがとうございました。お話を伺っていると、長後のよいところとは景観などももちろんありますが、結局のところ、人と人との繋がりなんだなあと感じます。

今回のこのサミットも、開会前には2部に残ってくれる人がどのくらいいるだろうかと委員の方が心配されていましたが、実際にはこんなにたくさんの方が残ってくださり、そして長後のいいところについて発言してくださいました。皆さんの言葉や思いをもとに、これからは、この長後のいいところをさらに伸ばしていこうではありませんか。皆さん何かご自分に出来ることがあれば、ぜひこちらの井上議長をつかまえて、一緒に長後のまちづくりをしていきましょう。もちろん、時間はかかるかもしれない。でも結局のところまちづくりは人づくりなんです。少しずつ先人の思い、若者の思い、皆さんの思いを形にしていきましょう。

私共は色々な団体の活動を支援する団体ですので、是非皆さんと一緒にこれからも考えていければと思っています。

では、進行を司会の方へお返しします。

○司会（小屋原副議長）

堀さん、どうもありがとうございました。では、井上議長からひとことお願いします。

○井上議長（郷土づくり推進会議）

皆さんありがとうございました。

今日は、皆さんのおかげで私自身も非常に満足しております。たくさんのご意見、皆さんの思いをいただきました。私の家も、先祖は江戸の初期くらいからずっと長後に住んでいるのではないかと思うのですが、とにかくかなり長い間長後におります。そして私は縁あってこのような活動の場にいさせてもらっていますが、人と繋がることは実に面白いな—と思いながら、続けております。家の裏手で犬の散歩の方とも交流を楽しんでおりますし、農地いっぱいポピーを植えていて、それを見に来る人や写真を撮りにくる人とも交流を楽しんでいます。町というのはやはり、そこに住んでる人が作り上げていくものだと思います。人と人との意思疎通が大切です。自然や動物もうまく使いながら、コミュニケーションをとるのも一つの手立てではないかと思っています。

『ひとたらし』という言葉がありますが、人とのよいつながりを持つためのよい言葉だと私は解釈しています。皆さん是非、人とうまくつながることを長後の町で実践してください。

今日は大変有意義な時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

【フリートークを終えて完成した、長後の良いところ】

| 皆さんが思う長後のよいところ |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然豊か、自然の眺望、引地川、遊水地、富士山 ➡ マップ作り |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 子育て環境、子育て広場、若い人が意外と住んでいる ➡ 長後で生まれ育った子が大きくなって…、若い人たちの参画 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 歴史、七夕まつり、長後まつり、盆踊り |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 農業、農産物、田園、四季折々 ➡ 遠くに住んでいる人にもアピール |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 暮らしやすさ、定住している人が多い、ご近所同士の声かけ、人の温かさ、ボランティア活動、先人たち ➡ 若い世代にも周知、高齢者も活動できる場 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 立地（都心、観光地へのアクセス）、医療機関、気候、大災害無被害 ➡ 長後への移住促進 ➡ 長後ブランドづくり、ブランドマーク、良いところの周知方法 |

○司会（小屋原副議長）

ありがとうございました。

本日皆さまからいただいたご意見や長後の良いところを活かし今後の郷土づくり推進会議の課題として取り組んでいきたいと思えます。貴重なご意見をたくさんいただきありがとうございました。

本日コーディネーターとしてご尽力いただきました堀さんありがとうございました。皆さま大きな拍手をお願いいたします。議事進行にご協力をいただきまして、ありがとうございました。

それでは、山中センター長から全体集会に関わる事務連絡がございますので、お願いします。

○山中センター長

郷土づくり推進会議は、地域の課題の取り組みに向けた組織となっております。今回の資料については、本日以降窓口にて配布いたしますのでセンターへお声かけください。議事録については、2月下旬ごろからホームページにて公開する予定です。

○司会（小屋原副議長）

ありがとうございました。

この集会の開催状況につきましては、郷土づくり推進会議の広報紙である「長後まちだより」によりまして、地区内の皆様へ後日お知らせしますので、よろしく願いいたします。

また、この郷土づくり推進会議のメンバーは、来年3月で任期満了となるため、1月に新年度の公募が始まります。1月下旬頃に地域回覧、ホームページ等でお知らせがあります。皆さん我々の仲間になりませんか。お待ちしております。それでは、最後に私から閉会のごあいさつを申し上げます。

○小屋原（長後地区郷土づくり推進会議）

私も実は数年前までは普通のサラリーマンで、地域とのかかわりは全くなく、近所に友達はひとりもいませんでした。定年後自治会長になったことから地域での活動がはじまり、少しずつ楽しみ始めました。自分がやってみようと思ったことを、長後の人達は誰も邪魔をしなかった。これはなかなかありがたい環境でした。今では長後に非常に愛着を感じている次第です。

それでは、お忘れ物のないようお願いいたします。

本日は、どうもありがとうございました。お気をつけてお帰りください。

閉 会